

医学系研究に関するお知らせ

〇〇〇〇 年 〇 月 〇 日

本院では、患者様の診療情報等を用いた研究を実施しています。この研究は、公益社団法人日本口腔インプラント学会の倫理審査および研究機関長の承認を経て実施される研究です。ご自分の診療情報等が本研究に用いられることを望まれない患者様は、末尾に記載した連絡先にご連絡ください。不利益を受けることは一切ありません。

研究課題名	過去 5 年間におけるサイナスリフトのインプラント埋入症例の生存率
研究責任者	東京一郎
研究機関長	東京一郎
研究体制	本院のみでの研究
研究（症例）の背景・目的・意義	インプラント治療を行うためには、土台となる適切な骨が必要となります。上顎臼歯部の場合、歯槽骨頂-上顎洞底間の骨量が不足が不足していることがあります。このような場合、サイナスリフトを施術して、上顎洞底を挙上させ、インプラントを埋入する方法を行うことがあります。当院に通院している上顎臼歯部にインプラント治療を希望した患者様で、インプラント埋入のための十分な骨量が存在せず、上顎洞底挙上術を必要とした方を対象とし、自家骨を用いたサイナスリフトをインプラント手術と併用して実施した症例のインプラント体の生存率を調査します。 本研究によって自家骨を使用したサイナスリフトの有効性を明らかにすることができると期待されます。
研究対象	本院に来院し、インプラント治療を受けた満 20 歳以上の患者様。 ただし、院内掲示により研究への不参加を申し出た患者様を除きます。
研究方法	2011 年 7 月 1 日から 2014 年 6 月 31 日までの間にサイナスリフトを併用してインプラント治療を行った患者様の診療録からインプラント体の生存率を調査します。
研究実施期間	倫理審査承認後 ～ 2020 年 8 月 31 日
研究（症例）に用いる試料・情報の種類	試料：本症例で用いることはありません。 情報：カルテに記載された性別、生年月日、カルテ番号、全身状態、口腔清掃状態、喫煙の有無、欠損原因、歯式等。
個人情報の保護	対応表は研究責任者が厳重に管理します。診療情報を用いて研究する際は、最新のセキュリティソフトを導入したパーソナルコンピューターにて、インターネットにつながらない状態で実施します。個人情報は本研究のためにのみ使用し、利用目的、利用方法を変更する時は、あらためてお知らせします。

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

